第４学年３組　道徳科学習指導案　　令和３年９月６日（月）５校時

主題名：わかりあう心　Ｂ相互理解，寛容
資料名：合い言葉は「話せばわかる！」（東京書籍）　　男子 16 名　女子 18 名　計 34 名

指導者　T1 今井　友紀
T2 兵藤　誠

主題について

ねらいとする価値

相互理解とは，互いに相手の意見や思惑がどのようなものであるかを知り，お互いの立場を理解し合うことにある。自分の考えや意見を伝えるとともに，自分とは異なる意見や立場も広い心で受け止めて相手への理解を深めることで，自らを高めていくことができる。

ここでは，異なった意見や立場をもつ者同士がお互いの思いを知ることによって，自分の意見だけでなく，相手の意見や立場を理解することの大切さに気付き，互いの違いを認め合い理解しながら，自分と同じように他者を尊重する態度を育むことをねらいとする。

児童の実態

① 児童は，6月に「親切，思いやり」の内容項目について，相手の身になって思いやり，進んで親切にすることの良さを学習した。学校生活の様々な場面での実践をし始めている。

② 一方で協働して課題解決を図らねばならない場面では日常的に小さな話し合いをしており，うまく解決して関係をより良くすることもあれば，トラブルを起こして仲違いすることもある。児童はトラブルの原因に「言葉が足りなかった」，「勘違いをして相手と喧嘩になった」等を挙げ，相手の事情や心情に配慮する必要性に気付いた者もいるが，中には「行き違いが嫌なので話し合いをしない」など，困難を恐れる余り，自らを高めようとしない者もいる。

③ 道徳の時間では自分の考えをもちながら発言を控える児童が複数いるが，どの児童もICTには興味があり，タブレットを使った意見交流には積極的に参加する。

題材について

本題材は，外国からの転入生「トム」が掃除をしないことをきっかけに，主人公の「ぼく」やクラスの児童とトムが話し合いを通して互いの事情を理解し，解決策を見出そうとする話である。

本学級の児童が自分を振り返り，ねらいとする道徳価値に迫ることができると考える。

考え，議論する道徳の時間を充実させるために

○ 互いの意見を交流する場の工夫
- 展開の【B 分析的な発問】を主発問にし，互いに自分の意見を言い合う大切さについて，日常生活の中での実践に繋げていこうとする心情を育み，本時でねらう道徳的価値観へと迫りたい。各発問の意図については，本時の学習展開に述べている。
- 本時では，思考ツール（クロス法）を活用して，自分の考えや友達の考えを視覚化し，異なる意見や立場があることを捉え，その上で自分の意見を相手に伝えさせたい。さらに本時の前半と後半に活用することによって，考えや思いの変容を児童同士が感じられるようにしたい。
- 本時の展開では，「ぼく」のとった行動について，資料の内容と自分の生活に置き換える活動を行き来する中で，「ぼく」の心情に迫っていきたい。本時の展開後段においては，掃除をしないトムの事情を知った「ぼく」の気持ちを考えることを通して，話し合いをする良さに気付かせ，意見の相違があった場合には，考えを伝え合い，よりよい方法を考えていこうとする態度を育んでいく。

○ 道徳学習プログラムの作成と本時との関連
- 第４学年では，自分たちの力を信じて，助け合って共に伸びていこうとする態度を養うために道徳学習プログラムを作成している。自分の意見や思いを伝えるだけでなく，相手の思いや立場を理解しお互いを認め合うことで自己肯定感や自己有用感を高めていきたいと考え，本時を道徳学習プログラムの中に位置づけた。

２　本時のねらいと授業の展開

本時の学習

（１）　本時の目標

掃除をしないトムに対する「ぼく」の思いの変化を考えることを通して，自分の意見だけでなく，相手の意見や立場を理解することの大切さに気付き，自分と違う意見や立場も大切にして友達との関係性を更に深めていこうとする態度を育てる。

（２）　本時の学習展開

過程	学習活動 〇主な発問 ●中心発問 ・予想される児童の心の動き	◇指導上の留意事項 □道徳学習プログラムとの関連 □発問の意図 ＊評価
気付く	１　事前アンケートを提示し，これから考えたいことをはっきりさせる。 〇アンケートの結果から，みんなで考えたいことを教えてください。 ・友達とけんかせず遊ぶためにはどうしたらいいか考えたい。 ・意見が合わない友だちと，どのように接したらいいか考えたい。 ・意見が合わなかったらどうしたらいいかわからないから知りたい。 相手と分かり合うためにはどんなことが大切なのだろう。	◇ 事前アンケートの結果を提示することで，ねらいとする価値への方向付けをする。 ◇ 事前アンケートで個人名が出た場合はかくして提示する。
とらえる	２　自分がぼくの立場だったらどうするのかを考えながら範読を聞く。 〇自分だったら，掃除をしていないトムくんに言う？言わない？【C 投影的な発問】	◇ 読むことに抵抗を感じている児童が，内容を捉えやすいようにＴ２が範読をする ＩＣＴ【具体的操作】 ◇ 自分の考えや友達の考えを視覚化し，自分の意見を相手に伝えたり，異なる意見や立場を知ったりさせるために思考ツール（クロス法）を用いる。また後の変容と比較させるためにタブレットを使って入力させる。
深める	３　「合い言葉は『話せばわかる！』」について話し合う。 〇掃除をしないトムに対して「ぼく」はどんなことを思っていたのでしょう。【Ａ共感的な発問】 ・なんで掃除をしないのだろう。 ・さぼっていてずるいな。 ・みんな頑張って掃除をしているのに。 ・注意してもわかってくれないのか…。 〇トムは「学校の掃除は清掃員の人がすればいいと思っていた」と言った後「ぼく」はどんなことを考えていたのでしょう。 【Ｂ分析的な発問】 ・トムにも事情があったんだ。 ・ビックリした。 ・掃除をさぼっているわけではないのか。	**□発問の意図** 【Ａ共感的な発問】により，クラスみんなで掃除を頑張っているのに対して，掃除をしないトムに対して「ぼく」の一方的な気持ちを考えさせる。 **□発問の意図** 【Ｂ分析的な発問】により，ぼくの心情の変化を考えることで，トムの事情も考慮し，よりよい解決策を見出し，考えを深められるようにする。また補助発問により，話し合うことの大切さを知り，自分たちがどのように相手のことを考えて注意するのか具体的に考えさせたい。

	・外国と日本では掃除の仕方が違うことを知らなかったよ。 ・でも掃除をしないのは許せないな。 ○話し合いを終えた後，笑顔になったみんなはどんなことを考えていたでしょう。 【A共感的な発問】 ・相手の思いを聞けて良かった。 ・自分の意見を伝えることも大切だけど，相手の意見を聞くことも大切なんだな。 ・クラスの仲が深まった気がする。 ・クラスのみんなでじっくり話し合うことも大切だ。 ○自分がぼくの立場だったらトムに掃除をするように言いますか。【C投影的な発問】 ・みんな掃除を頑張っているのに，さぼっているトムが許せないから言う。 ・転校してきて，あまり話したことがないから言えない。 ・ほかのみんなもきっと同じ気持ちだろうから，代表して言う。 ・掃除をしてほしいことを伝えたら，トムもきっとわかってくれるだろうから言う。 ・最初は自分の意見を言うだけでスッキリしていたけど，相手の気持ちも知れてさらにスッキリしたよ。 ・仲が悪くなるのが嫌だから，言いたいけど言わないと思っていたけど，お互いに仲良くなるためには我慢しないで伝え合うと心が温まると思う。	**□発問の意図** 【A共感的な発問】により，話し合いを通して相手の立場や考えを知り，よりよい方法が生まれるということを感じさせる。 ＩＣＴ【具体的操作】 **□発問の意図** ぼくの立場に立ってトムに掃除をするように言うか言わないかを選択させることで，児童は自分に引き付けて，迷いながら考えるであろう。また，同じ行動であっても理由は様々であるということを友達との意見交換を通して深め合う。そこで互いに理解し合いたいという思いを実現するために，大切なことについて気付かせたい。 ◇ 思考ツール（クロス法）を用いることで，自分の考えや友達の考えを視覚化し，考えや思いの変容を児童同士が感じられるようにする。 ◇ 教師は，「どうして言うことにしたの？」「どうして言ったらすっきりするの？」「仲が良くなりたいなら言ったほうが（言わないほうが）いいのではないの？」などと立場を変えながら発問することで，教師が押しつけることなく，児童の中から話し合いをすることで相手の思いを知れるという気持ちが湧き出てくるようにする。
見つめる	4　話し合いについて，自分の体験を想起しながら考える。 ●自分達も意見が合わず口喧嘩などを経験していたね。相手と分かり合うためにはどんなことが大切なのだろう。【B分析的な発問】 ・良い方法を一緒に考えることが大切。 ・みんなが納得できるように話し合う。 ・相手の立場を理解し，大切にした上でお互い思いを伝えることが大切。	◇ アンケートをもとに自分自身のことを想起させながら話し合うことの大切さについて触れていく。 **□発問の意図** 【B分析的な発問】により，資料を通して考えたことを自分の生活に置き換えて考えることで，相手と分かり合うためには，お互いが気持ちの良い選択ができるように行動していこうとする道徳的価値に迫る。

	・話し合いをしようと言うのは勇気がいるけど，自分の思いを言ったり相手の思いを聞いたりすることが大切だと思う。	
あたためる	5　本時の学習を振り返り，アンケートをもとに今までの自分の行動や，今後自分にできることについて考える。 〇学習を通して，考えが深まったことやこれから生かしたいことはなんですか。 ・喧嘩しても，相手には相手の考え方があるので，聞いてみようと思った。 ・相手の考え方をきいて，お互いが納得できるように話し合いたい。 ・先生に解決してもらうのではなく，勇気をもって自分たちで解決できるようになりたい。	◇　アンケートや思考ツール（クロス法）をもとに，自分の今までの経験やこれからの日常生活に置き換えて考えさせる。 ＊　今までの自分の行動を省みて，相手とお互いにわかりあって，自分と違う意見も大切にしようとしている。 （ノート，発言）

（3） 板書計画

アンケート結果 → 考えたいこと

合い言葉は「話せばわかる！」

テーマ　相手と分かり合うためにはどんなことが大切なのだろう。

考えを聞けて良かった

伝えることが大切

納得できる

良い方法を一緒に考える

話し合いって大切

分かり合えた！！

トム

ぼく

・さぼっていてずるいな。
・注意してもわかってくれないな。
・なんでそうじをしないの？
・なんだかモヤモヤするな。
・言ってけんかになるのは嫌だ。だけど…

自分が「ぼく」だったら
トムに言う？言わない？
その時の気持ちは？

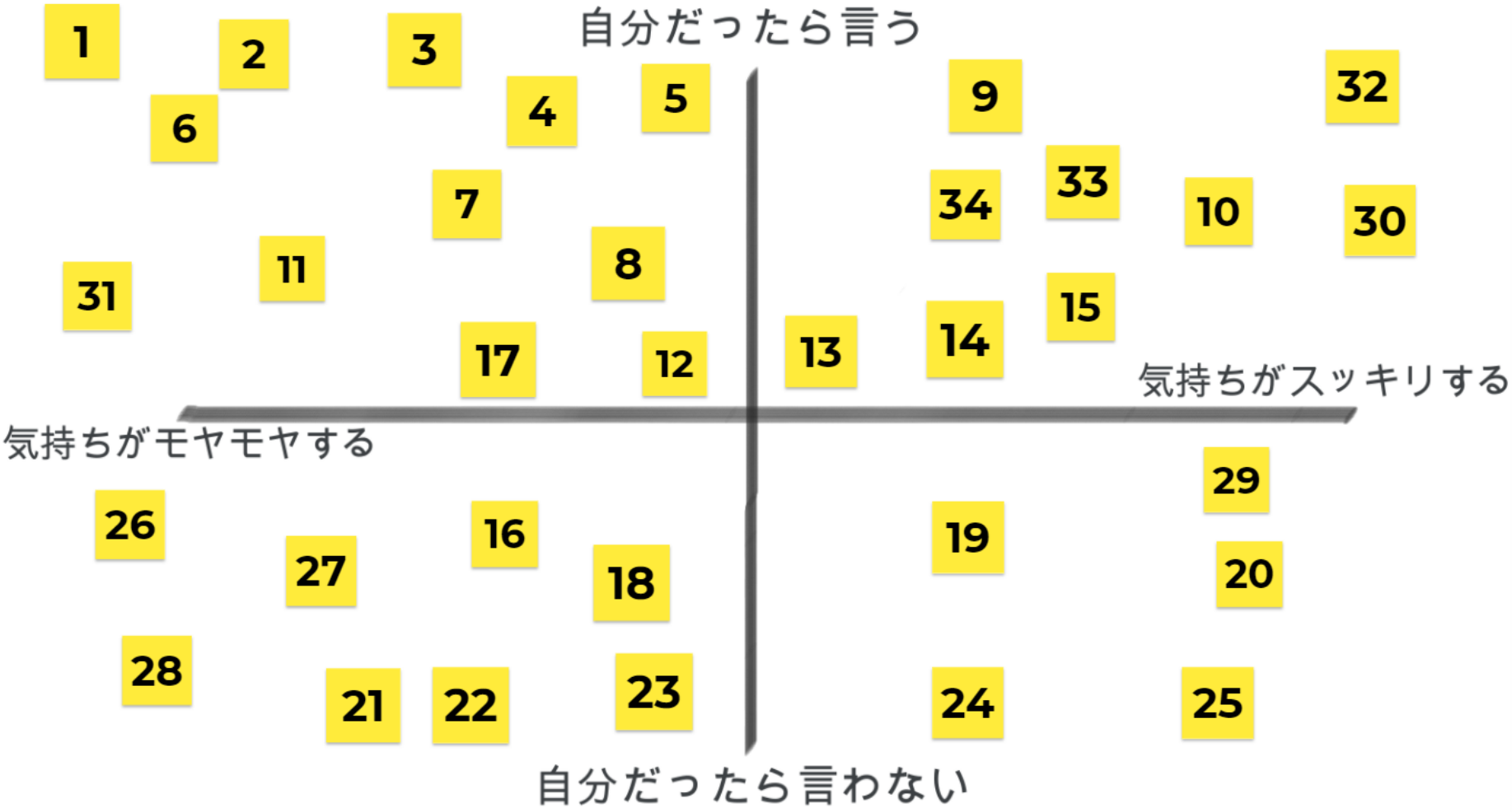
・ビックリした。
・トムにも事情があったんだ。
・そうじをさぼっているわけではないのか。
・いっしょにできたらいいな
・そうじのやり方を　教えてあげよう。
　教えてもらおう。
・みんなとそうじをしたい
・外国と日本ではそうじの仕方が違うことを知らなかったよ。
・日本は、みんなでそうじをするんだ。

・みんなはなんでそうじをしているのかな
・大人のせいそう員の人はいないのかな
・ぼくは、今までそうじをしたことがないよ

自分が「ぼく」だったら
トムに言う？言わない？
その時の気持ちは？

相手とわかりあうために……

・喧嘩しても，相手には相手の考え方があるので，聞いてみようと思った。
・相手の考え方をきいて，お互いが納得できるように話し合いたい。
・先生に解決してもらうのではなく，自分たちで解決できるようになりたい。


自分だったら言う
気持ちがスッキリする
気持ちがモヤモヤする
自分だったら言わない
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34